



「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body strong in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP*NEWS

柔道部・レスリング 関東大会出場決定

校外活動(高1・3) スポーツ大会(高2)



2年連続出場の3年7組澤君(レスリング)



8年連続関東大会出場(柔道部)



校外活動(バーベキュー)(高3)



スポーツ大会(高2)



校外活動(東海大学湘南校舎見学)(高1)

部・同好会の試合等の予定と結果は、毎週本校ホームページで更新されています。

2009年度学校運営方針 ①

学習と部活動の両立(文武両道)

教務部、進路指導部と生徒指導部が協力しながら、学習と部活動の両立を図ります。

部・同好会活動入部率 中等部1年生100%

高校第1学年 93%(高校全体では86%)

昨年度部・同好会活動は、本校創立以来最高の結果を残しました。今年度もさっそく、柔道部とレスリングが関東大会出場を果たしています。インターハイの予選も始まり、多くの部活動で3年生が高校生活最後の大会にチャレンジします。

部活動を頑張っている人たちが、学習面でも良い成績を修めるとというのが本校の伝統になってきました。付属高校・中等部の特徴を活かし、学習と部活動の両立を目標に最後まで全力で頑張りたいと思います。

基本的な生活習慣を身につけさせる

私学の特色の1つは、徹底した生活指導にあります。基本的な生活習慣を身につけさせることにより、生徒の学習に対する姿勢が積極的になり、より効果的な教育が実践できます。

基本的な生活習慣の中で、特に挨拶の励行、欠席・遅刻・早退をしない、身なりを清潔にするなどの指導を徹底します。昨年度末から開始した「朝読書」の影響か、遅刻が激減しました。4月には、ネクタイ、ズボン、スカート等の正しい着用を指導しましたが、校内での生活全般が引き締まりました。

また、家庭・保護者と連携し「共育体制」を推進。さらに、社会基範意識の指導を徹底することにより、地元住民から愛される生徒を育成します。

全教職員が、範を示し、放任不可、例外不認の原則をもって生活指導にあたります。

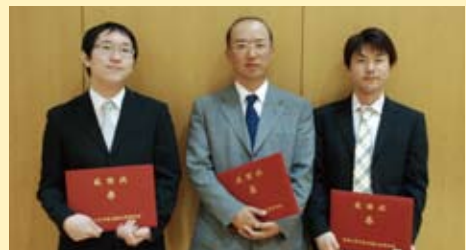
本校を訪れた多くの方々(他校の教員、学校見学の中学生や保護者、来客)が、本校の生徒の元気な挨拶や、丁寧な対応に驚いています。今後も、基本的な生活習慣が身に付くよう指導を重ね、退学者ゼロの教育環境を推進していきたいと思っています。

第5回 ベストティーチャー決定(2008年度)

中等部・高校タイプA 高橋光太先生(数学)
高校タイプA 古谷知永先生(音楽)
タイプB 石井裕孝先生(地歴)

2008年度のベストティーチャー3名の教員が、第37回後援会総会の場で賀来陽一会長から表彰、賞金を授与されました。

ベストティーチャー制度は学校改革の一環として、後援会のご協力により2004年度に発足した制度です。前期2回の生徒による授業



向かって左から、石井先生・高橋先生、古谷先生

評価アンケートのアベリッジ上位中等部3名、高校6名の教員の授業を、全教員・保護者に見学していただき、総合評価の最も高かった中等部1名、高校2名がタイプAに、中・高で1年間の伸び率が最も高かった教員がタイプBとなります。今年度は高橋光太先生が中・高校タイプAのダブル受賞となりました。ベストティーチャーの授業を参考・モデルとして、全教員が授業改革への意欲を高めることを期待してこの制度を設けています。なお、一度ベストティーチャーに選ばれると3年間はこの対象からはずれません。

中等部 1 学年 だより

部活動に入部して

4月に中等部に入学し、早くも2か月がたちました。勉強面では前期中間試験も終わり、ほっと一息ついたところではないでしょうか。また、生活面では部活動に所属してこれまでと大きく変わった人も多いことでしょう。中等部ではほとんどすべての生徒が部活動に入部します。部活動は普段の学校生活だけでは学ぶことのできない、様々なことを学ぶことができる場所です。友達や先輩、顧問の先生に囲まれて充実した学校生活を送りましょう。

初めての部活!

早川 妃菜子

1年A組 大田区立小池小学校出身

私は小学校の時に吹奏楽部でトランペットを吹いていました。そのために、部活動を決める時に吹奏楽部にするかバスケットボール部にするかとても悩みました。でも私はミニバスを習っていたことがあり、体を動かすことが好きだったので結局女子バスケットボール部に入部することに決めました。

女子バスケットボール部に入部して1番大変だと思ったことはフットワークです。入部する前は、練習はボールを使ってシュートやドリブルをしたりすることだと思っていました。しかし、実際に入部してみて、フットワークがとても大切なことに気づきました。

私は初め、先輩は怖い存在だと思ってビクビクしていました。しかし、私が理解できなかったことを優しく教えてくださったり、たくさん話しかけてくださるので部活動の時間がとても楽しみになりました。私もこれから一生懸命、先輩に追いつけるように頑張ります。

男子バスケットボール部に 入部して

木内 信之助

1年B組 台東区立富士小学校出身

僕は、男子バスケットボール部に入部しました。最初は先輩たちが怖くないか、ちゃんと練習についていけないか、など不安なことがいっぱいありました。しかも僕はバスケットボールを真剣にしたことがなく、体育の授業や遊びで友達としたことがあるくらいでした。

しかし、仮入部してみるとあまり先輩たちも怖くなく、きついところもありましたが、ちゃんと練習にもついていくことができ、すごく楽しいと思うようになりました。1番良かったことは、先輩たちがおもしろくて、顧問の先生方がとても丁寧に教えてくださったことです。

男子バスケットボール部に入って、バスケットボールの基本やルールのことから、中等部での生活や先輩との接し方までいろいろなことを勉強することができます。いい部活動に入ることができてよかったですと思います。

各部活動の様子



基礎合奏 (吹奏楽部)



ノルマは100回!! (サッカー部)



先輩の稽古を真剣に (剣道部)



なにが見えるのかな? (物理化学部)



キャットウォークを走る!! (男子バスケットボール部)



週に1度の埼玉グラウンド (陸上部)

中等部 2 学年 だより

言葉の重み

中等部では毎週道徳の時間に自分自身に関する事、他の人とのかかわりに関すること、集団や社会とのかかわりに関することなど、さまざまな題材について考えています。

中等部生活も1年が過ぎ、それぞれに落ち着きがみられるようになりました。学年の友達ともだいぶ親しくなった今、「友達とのかかわりについて考える」ということで普段お互いにかけている言葉について考えました。

深谷 碧

2年A組 川崎市立王禅寺小学校出身

私は普段から言葉づかいが悪くて、ただ思ったことを話しているだけでも相手の気分を害すようなこともあるように思います。言葉というものは、たとえ1秒の短い言葉だとしても相手が傷つくようなことがあります。でも逆に1秒の短い言葉でも、相手は嬉しかったり、幸せになったりします。これからは相手の気持ちを考えてコミュニケーションをとろうと思います。

家前 朋実

2年B組 横浜市立日下小学校出身

私は、今まで何も考えずに言葉を使っていました。けれど、よく考えてみると大好きな友達には言われてうれしい言葉をたくさん言われていたし、言っていたと思います。反対に、仲のよくない友達にはうれしい言葉や勇気づける言葉を言ってあげられなかったかもしれません。これからは全員にうれしい言葉をかけていきたいと思っています。

増島 佑哉

2年A組 大田区立馬込小学校出身

僕は最近相手を勇気づける言葉をかけていませんが、かけられたことがあります。中1の陸上部の大会で僕の種目はハードルでした。練習の時にうまく飛べなかったので不安になっていると、先輩が「本番になれば案外飛べるものなんだよ」と言ってくれました。僕はその時とても嬉しかったので、僕も後輩にこんな言葉をかけてあげられるようになりたいです。

藤城 孝明

2年B組 豊島区立池袋小学校出身

僕は少し恥ずかしがり屋なので、あまり相手が言われてうれしいことは言ってきました。けれど、「ありがとう」「ごめんなさい」という必要なのは素直に言うことができました。僕は普段、あまり相手の言葉を意識して聞いていませんでしたが、これからはきちんと意識をして聞いてみて、どのくらいうれしいかを覚えて、相手にも声をかけてあげたいです。

学校生活の様子(部活動)



吹奏楽部



剣道部



卓球部



女子バスケットボール部



物理化学部



陸上競技部

中等部3学年だより

中等部3年生となり、早2か月が経ちました。1年生の頃から熱心に部活動に取り組んできた生徒たちには2学年に渡る後輩ができました。今年で中等部は完成年度となり部活動も更に活気づいてきました。3年生は教えることの難しさにとまどいながら、自分たちなりに先輩としての自覚を持ち、一生懸命考え教えているようです。2年前と比較すると、大きく成長している生徒たちを頼もしく感じています。

本格的な部活動

ソフトテニス部部长 **西 真澄**
横浜市立駒岡小学校出身

今年は中等部3学年が揃い、本格的な部活動になってきました。初めてのことに試行錯誤しながら頑張っていきたいと思います。

ソフトテニス部では「声出し」「素早く行動する」「挨拶」これらを基本とし、日々の練習に励んでいます。一本でも多く打つよう心掛け、時間を無駄にしないよう向上心を持って取り組んでいます。3年生は部活動全体をまとめるために団結して頑張っています。また2年生は、来年のことも考えて自分たちで行動できるように、今のうちから率先して動いてもらっています。1年生には早く部活動に慣れてほしいと思っています。これからも男女ともに協力し合いながら楽しく活動していきたいです。

新入部員を迎えて

卓球部所属 **清水 孝之**
目黒区立鷹番小学校出身

今年も卓球部に新入部員が入ってくれました。予想以上に多く入ってくれたのでとても嬉しいです。今年1年生が入ってくれて、東海大学付属高輪台中等部卓球部も3学年が揃いました。昨年、後輩に卓球を教えるのはとても難しく大変でした。今年も、自分の教えられる限りのことを教えたいと思います。卓球部のいいところは、学年に関係なく仲の良いところだと思っています。だから1年生にも優しく接して、雰囲気の良い部活動にしたいなと思います。雰囲気のいい部活動というのは、「仲良しクラブ」という意味ではなく、「きちんと叱ったり、時にはみんなで笑える部活動」ということです。そんな部活動を目指し、3学年力を合わせて練習に励んでいきたいです。

部活動の様子



3年生の走り(陸上競技部)



1~3年みんな仲よし☆(卓球部)



3学年合同練習(サッカー部)



1年生たくさん入ってくれてうれしいです!(男子バスケットボール部)



好奇心旺盛な1年生!(物理化学部)



一緒に上達しよう(吹奏楽部)

高校1学年だより

アイデンティティー

5組学級担任 数馬 大介

高輪台高校に来て1か月が経ちました。そろそろ学校生活には慣れたでしょうか。

高校生になって、大部分の人は、“壁”にぶつかります。中学校の頃までは、学校の成績が上位だった人、部活動でレギュラーだった人…当たり前のことですが、中学校で成績が良かったからといって高校でも成績が良いとは限りません。部活動でレギュラーだったとしても高校でもレギュラーになれるとは限りません。勉強面でも部活動の面でも、同じくらいの力を持った人たちが多く集まる場、それが高校だからです。

今まで「出来る」と思っていたものが、この集団の中では「普通」になってしまう。今までの自分が通用

しない、逆にここでは「出来ない」人間になっている…そんな経験をしている、またはこれからすることになります。その時、あなたはどうしますか？

難しい言葉で、これを「アイデンティティの崩壊」と言います。誰であっても、今までの自己が壊れてゆく瞬間が必ず来ます。この瞬間はかなりきついです。通用しない自分自身を情けなく思うかも知れませんが、「もう良いや」と投げ出したり、現実から逃げだしたりするかも知れません。

けれど、これは誰にでも起こること。そんな時は現実から目をそらしてはいけません。本当に苦しいけれど、じっくりと自身を見つめ直し、自分の立ち位置をもう一度把握してください。そこからいかにして這い上がるか、これが自身を成長させるのです。そして這い上がった時には、新たな自己を発見できるでしょう。「アイデンティティ」という言葉、是非覚えておいてください。

朝読書のすすめ

6組学級担任 山田 武範

本校では「朝読書」に取り組んでいます。朝のホームルーム前の10分間、それぞれ自分が好きな本を、ただ静かに読みます。多くの小中学校で実施されている試みであり、そのためか1年生の皆さんは、わりとすんなり取り組むことができているように感じます。私のクラスでも、有名な文学作品から一流スポーツ選手の自伝まで、生徒たちはいろいろな本を選んで読んでいます。この10分間は学級担任の私にとっても貴重な読書の時間。また1日のスタートを、気持ちを落ち着けて始められるため、私はこの静かな10分間が結構好きです。

しかし中には、読書をするための本を持ってこない生徒、この時間に宿題を一生懸命(?)こなしてい

る生徒、静かにぼーっとしている生徒もいます。何だか「もったいない」気がします。

読書が大切であることは言うまでもないことです。しかし、「苦手だ」「面倒だ」「時間がない」などの理由で、中学生時代にはなかなか読書に手をつけなかった人もいるかもしれません。でもそんな人ほど、この「朝読書」に積極的に取り組んでみてほしいのです。

唐突な例ですが、散らかっている部屋の片付けは面倒です。しかし、いったん片付けを始めると、完璧にきれいになるまで作業にはまっていってしまう……、そんな経験がある人も多いのではないのでしょうか。いやだと思っていたことも、いったん始めてみると案外「はまる」ものです。これまで読書の習慣がなかった皆さんも、この朝読書を機にぜひ積極的に取り組んでみてください。きっとその魅力を発見できるはずですよ。

高校2学年だより

「アウトプット」

学年主任 米谷 昭人

情報化社会になり、無数の情報がある世の中で私たちは、絶えずインプットを続けています。インターネットなどで無意識にインプットしていることを考えても、明らかにアウトプットが足りていないというのが現代の社会現象だと思います。アウトプットとは、頭の中だけで考え続けなくて、言葉で表現したり、体で表現したり、文章で表現したりすることです。皆さんは、上手にアウトプットできているでしょうか？

野球のイチロー選手は、小学校の卒業文集に実に明確な目標を立ててアウトプットして成功しています。ゴルフの石川遼選手も同様に明確な目標を文章化して成功しています。大事なのは、冷静に自分自身の分析をして、明確な目標を掲げている点です。多数の情

報に左右されることなくしっかりとアウトプットしているので活躍できているのだと思います。

私もそうですが、簡単な目標などは頭の中で考えているだけになっています。そうではなく、自分自身の目標を友達や親に話したり、紙に書いたりすることによって、その目標が明確になります。4月に配られた相談室だよりも同様なことが書かれていました。悩んでいるだけではなく、話をしてみることによって悩みは解消されるという話です。これも上手にアウトプットしていることによる効果です。私は、友達や仲間と色々話をしていく中でアイデアが生まれてくることがあります。これもアウトプットの効果です。自分1人だけで考えていても生まれなかったアイデアが何気ないアウトプットによって頭の中が整理され生まれてくるのです。

この時代、黙っていてもインプットする量が莫大なので、皆さんも上手にアウトプットしてください。

研修旅行(各コース コース長生徒の一言)

北海道コース

2年3組 高野 優

僕は北海道には行ったことがなかったので、今回の研修旅行をととても楽しみにしています。北海道特有の、例えば広大な自然や豊富な食べ物、文化などを、旅行を通して学びたいと思います。正直こういった仕事は不慣れですが、良い思い出になるように頑張りますので、よろしくをお願いします。

ハワイホームステイコース

2年5組 加藤 真由

私はこの研修旅行をととても楽しみにしています。ホームステイということで、不安はありますが、泊めていただく家族の方と、自分から積極的に交流したいと思っています。ハワイでしか経験できないことを通じて、充実したものにしたいと思います。

沖縄コース

2年3組 万里崎 百仁

私たちは沖縄に行くにあたって、楽しむところはみんなで思いっきり楽しみたいと思います。実際に現地に行けるといいうこの貴重な体験を大事にして、高校生活の中での最高の思い出になるよう、充実したものにしていきたいです。

オーストラリア研修コース

2年2組 由井 瑞絵

私は、オーストラリアで現地の人に案内してもらうことが一番楽しみです。出来るだけたくさん英語で話して、コミュニケーションをとりたいです。オーストラリアでしか出来ないことをたくさん経験して、一生の思い出を作りたいと思います。

ハワイ研修コース

2年2組 小池 幸平

ハワイという言葉を知ると、青い海や青い空などといった美しい景色が思い浮かび、研修旅行がととても待ち遠しく感じます。ただ、そのような景色を見に行くだけではなく、ハワイの文化や歴史などを学び意義ある研修旅行にしたいと思っています。また、コース長ということに自覚を持ち責任ある行動をとっていきたいと思います。

オーストラリアホームステイコース

2年2組 石丸 芽衣

私にとって初めての海外旅行なので、他国の文化に触れることや、現地の人々との交流など、すべてが楽しみです。言葉は違うし携帯電話も使えないし、不安なこともたくさんありますが、貴重な時間を大切に、有意義な研修旅行にしたいと思っています。

高校3学年だより

3年生になって早くも2か月が経ちました。皆さんは先輩として、後輩から慕われるような学校生活を過ごしていますか。

さて、4月18日(土)に保護者会が行われました。アリーナで開催された全体会には、329名の保護者の方々のご出席くださいました。まず、学校長の挨拶があり、その後に生徒指導主任より生徒諸君が3年生としての自覚を持って学校生活を過ごして欲しいという話がありました。その後の進路の話が今回の保護者会の中心テーマでした。進路指導主任がパワーポイントを使用して進路指導の現状や今後の進路の日程を詳しく説明いたしました。その後、クラスに分かれて分級会がありましたので、今回は各クラスの分級会のようすを学級担任のコメントを通して紹介いたします。

1組

主にクラスの状況報告をお話ししました。その中で最終学年を充実した年にするため、本年度のクラス標語を「しあわせは、いつもじぶんの心がきめる」としました。その他、担任の目標や進路についての説明を行いました。

2組

進路の話が大詰めを迎えつつある中にも和やかな雰囲気分で分級会は進行了しました。

希望の進路を実現しようとする生徒たちをバックアップするため、保護者の皆さんと私の良き「サポーター」集会になりました。

3組

担任の自己紹介、後援会の紹介、クラス状況報告、行事の予定の確認、6グループに分かれて懇談を行いました。グループ懇談では担任が「きっちり6分ずつ」テーブルをまわりました。内容は進路の話が中心でした。

4組

初めてお目にかかる方がほとんどで、とても緊張しました。掃除の班をもとに机をかため、男女混合グループを作りました。授業の話、部活動の話、進路の話で盛り上がっていたようです。お会いする機会は少ないですが、保護者の方々と親しくなれたら嬉しいです。

5組

わが子の進路についてとても不安に感じている保護者の方が多いようです。実際、どの学科が本当に自分に最も適しているのか決められずに悩んでいる生徒もいます。何より本人の意思が大切なのですが、ご家庭でも十分に話し合っただければと思います。

6組

分級会では、前期中間試験に向けて、生徒が持っている切迫感を保護者の方々にも共有していただくという方針のもとで、提出物や家庭学習への支援、声かけを家庭でも徹底していただきたい等の呼びかけをしました。

7組

担任の自己紹介、学級目標、年間スケジュール、進路の話をしていただきました。また、保護者の方からは、進路についての質問が多かったです。具体的には、「行きたい学科に行けるのか」「どのような推薦システムなのか」などです。ご家庭で生徒と十分に相談する時間を作り、サポートしていただきたいです。

8組

クラス2年目ということで、机を向かいあわせて自由に座っていただきました。保護者間の会話がとても盛んでした。また生徒たちの高校3年生としての生活習慣や学習への取り組みについて気にされているようでした。

9組

3年間同じメンバーですが、今回はSSHの「課題研究」で同じ分野・テーマで座席を決めました。初めてお話しされる方もいたようで、交流の輪が広がったと思います。「子供に一言」のコメントを書きいただき、学級通信で紹介しました。生徒に気持ちが伝わっているといいのですが…。10月の保護者会では、45名全員の保護者の方とお会いしたいです。



憲法記念講演 子供の人権救済の現場から

本校では毎年高校1年生を対象に「憲法記念講演」を行っています。4月30日(木)のホームルーム活動の時間を利用して、弁護士の坪井節子先生から、緊急避難施設に救いを求める子どもたちについてのお話を聞きました。初めて耳にする現実を通して、多くの生徒が「子どもの人権」について改めて考えたようです。



子どもの人権について講演される坪井節子弁護士

青木 さやか

1年4組 船橋市立高根台中学校出身

私は、憲法記念講演を聴いて初めて、子どものための一時保護施設があることを知りました。世の中には親から暴力をふるわれて居場所をなくした子どもたちが多くいて、そんな子どもたちが罪を犯してしまったりすることもよくわかりました。一時保護施設は、子どもたちにとってとても大切な場所だと思います。帰る場所がある

ことは幸せなことで、そのことにもっと感謝しなければいけないと思いました。

子どもが罪を犯してしまうのは大人のせいなのに、どうして子どもだけが裁かれなければいけないのか理解できません。そうやって子どもだけを責めるから、また大人を信用できなくなってしまうのだと感じました。

これから犯罪が少なくなると共に、一時保護施設を建てる必要もなくなればいいと思います。

京増 有香

1年7組 江戸川区立西葛西中学校出身

いじめもなく、虐待もされない子の裏には犯罪を犯してしまったり、不登校になってしまったりする子がいるという、つらくて悲しい現実があることを知りました。テレビやラジオなどのニュースでこれらの言葉を聞いたことはありましたが、その時は特に何も感じませんでした。

しかし、今日の講演を聴いてどんなに自分が親に愛さ

れているかを思い知らされました。何の不自由もなく、3食しっかりと食事を取り十分に寝る所がある。なんて幸せなことなんだろうと思います。

私たちが人間である以上、感情を他人にぶつけていかなければ生きていけないと思います。いじめをしたり受けたりした子は、ただ感情をうまく表現できないだけなんだと私は思っています。もし、私の周りに悩み、苦しんでいる子がいるならば、そっと声をかけてあげたいと思います。

理工系進学につながるサイエンスプログラム

2004年度より文部科学省スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の研究指定校として研究開発に取り組んでまいりました。2007年度より改めて再指定を受け、新たに5年間にわたり研究開発を継続しています。2008年度は、その2年目となり、SSHクラス以外の生徒も参加できるサイエンス講座(年7回)を実施してきました。

2009年度は、さらに普通クラスの生徒が参加できるプログラム(放課後、土曜日、夏期休暇)を実施していきます。このプログラムは、大学・研究機関等に所属する先生が本校に来校して行う講義や実験と、生徒が大学の実験室や研究室に訪問して指導していただくものがあります。このプログラムに参加すると、それぞれの学部学科がどのような学問領域を取り扱い、どのようなことをテーマとして研究や開発をしているかがよく分かります。さらに、実験・実習等を通してその方面への適性なども具体的に知ることができます。是非ともこのプログラムに参加して、希望する進路の実現に取り組んでください。

プログラム1：研究施設訪問

研究現場や企業の取り組みなど実物や本物に触れることにより、科学技術の仕事に携わる研究者とコミュニケーションをとり、将来の仕事を考えるきっかけとなる体験です。

6月20日(土)「地学」 宇宙航空研究開発機構(JAXA)、地質標本館

7月 4日(土)「物理」 那珂核融合研究所、原子力科学館

11月 7日(土)「生物」 慶應義塾大学薬学部

1月27日(水)「化学」 ライオン株式会社

プログラム2：サイエンス講座(本校)

外部講師(科学者・研究者)による「科学講演」や「実験授業」です。

第2回「パラボラアンテナをつくらう」 6月16日(火)

東海大学理学部物理学科 鈴木恒則先生

プログラム3：夏期集中体験授業(東海大学湘南校舎、代々木校舎)

東海大学の施設を生かして、自分の選択したコースで「講義や実験」を体験します。自然科学に関して興味を広げ、自分の進路選択に生かせる集中授業です。

実施日：8月18日(火)・19日(水)・20日(木) 10:00~16:00

8コースの紹介

- 物理コース①「光技術の基礎を体験」 工学部光・画像工学科 渋谷猛久先生
- 物理コース②「ナノテクノロジーの現状と原子の世界」 理学部物理学科 小栗和也先生
- 化学コース「身近な応用化学の体験」 工学部応用化学科 浅香 隆先生
- 生物コース「免疫に働く抗体を探る」 工学部生命化学科 松下 操先生
- 地学コース「宇宙の観測と三鷹国立天文台」 理学部物理学科 榎田淳子先生
- 環境コース①「水生生物からみた環境問題」 教養学部人間環境学科 内田晴久先生
- 環境コース②「環境紫外線の生物作用」 工学部原子力工学科 伊藤 敦先生
- 数学コース「プロジェクト学習」 教育開発研究所 酒井利訓先生

SSH活動報告

1年生SSHクラスで、「科学英語プレゼンテーション」と「リベラルサイエンス」という講座が行われています。「リベラルサイエンス」の数学で、東海大学代々木校舎を訪問し、身近な数学や数学の実用性を実感する教具にふれてきました。また、「科学英語プレゼンテーション」では、5月2日に日本科学未来館で館内見学とプレゼンテーション実習を行いました。ここでは、2、3年生SSHクラスの生徒たちの協力もあり、有意義な講座となりました。

新たな数学との出会い

北出 紘章

1年9組 横浜市立神奈川中学校出身

数学は敷居が高いと思われがちで、数学の授業の前には誰もが肩を落としたはずでしょう。私もその一人です。しかし私たちは、実は常に数学と共に生きているのです。それもパソコンや携帯電話、もちろんゲーム機など、複雑な数学を軽々しく操れるからなんと高度なことなのでしょう。

SSHクラスのリベラルサイエンス数学で、このように日常で使われる数学についての講義をしていただきました。パズル形式での16世紀で起きた解錠手口の謎、パラボラアンテナの原理による風船破裂実験、多角体のアトムによる組み立てパズルなど。どれも難しそうな内容を楽しく興味をそそるものでした。

個人的には「誤り訂正符号理論」に深く興味をもちました。手がかりとなる指標から間違いを見つける、いわば数当てマジックのようなものですが、実はCDやDVDのメディアを快適に視聴できるのはこれのおかげなのです。

こんな数学との出会いは初めてです。数学をもっと勉強し、また新たな数学と出会ってみたいです。



石けん膜の実験では、予想を裏切る結果にびっくり!



ジェスチャーは大きく、ゆっくり。そしてアイコンタクトを忘れず!

プレゼンテーションの難しさ

菅沼 美由起

1年9組 世田谷区立奥沢中学校出身

初めての校外でのプレゼンテーション。学校で行われた初めてのプレゼンの授業では、分からないことだらけであたふたしていたので「今回はより良いものを」と、意気込んでいました。

1回目のプレゼンは、インタープリター（解説者）の方ともゆっくり話せたので自分の中でちゃんとまとめて発表することができました。ですが2回目は時間が短く、頭の中でまとまらないままプレゼンの時間になってしまい、だらだらしたものになってしまいました。やはり限られた時間の中で興味を持てるものを見つけ、それを深めてきちんとまとめるというのはとても難しいことだと思いました。他にもジェスチャーやアイコンタクト、言葉遣いといった注意点がたくさんあり、まだできておらず自信を持ったプレゼンができないので、これから1つひとつ直していき、良いプレゼンができるよう努力したいです。

1年後の未来館

平田 将大

2年9組 千葉大学教育学部附属中学校出身

僕が1年生として日本科学未来館を訪れてから早いもので、1年が経っていました。1年前に訪れたときはプレゼンテーションをまだ数回しかやったことがなく、右も左もわからない状態でした。また、発表する相手も出会ったばかりの人だったので、照れ臭く恥ずかしかつたという記憶があります。正直、当時は発表することが面倒臭いと思っていました。

今年はTA（ティーチング・アシスタント）という新たな立場で参加しました。僕たちは1年生の発表を後ろで見ながら気になったことを発表後に伝えたり、質問等をしました。1年生を見ると、まるで1年前の自分たちを見ているようでした。自然に声が小さくなったり、展示物を向いて発表していたりしていました。それでも、そのことを指摘するとすぐに直してくれました。

今回の訪問は自分たちが主ではなくサポート役でしたが、学んだことがありました。それはいかに内容を簡単にまとめ、わかりやすく説明する必要があるということです。今まで何気なくしていたことも別の立場になってみると、それがとても大切なことだと知ることができました。



「先輩、ワークシートの点検をお願いします」

お知らせ

高校2年生 研修旅行 6月25日(木)～30日(火)

どのコースも思い出をたくさん作ってきてください!

- 北海道コース ○沖縄コース ○ハワイ 研修コース・ホームステイコース
- オーストラリア 研修コース・ホームステイコース

研修旅行期間中、中等部・高1・高3は4時限授業、臨時時間割になります。

第1回中等部体育祭

中等部 1・2・3年

6月26日(金)

スポーツ大会

高校 1年

6月27日(土)

高校 3年

6月30日(火)

さいたま総合グラウンド、雨天時本校アリーナにて ※運動靴・お弁当・飲み物を忘れないように!

訂正とおわび

5月号のTOP NEWSダンス部全国大会の順位が間違っておりました。
誤/全国大会4位 → 正/全国大会2位 訂正しお詫び申し上げます。

行事予定

June 6月

July 7月

- 1日(月) 東海大学付属推薦小論文試験(高3)
小論文コンテスト(高1、高2)
作文コンテスト(中等部)
- 2日(火) 朝礼、生徒総会(7限目)、短縮授業
- 4日(木) 剛健検診(高1、高2、中等部)
- 5日(金) 剛健検診(高2、高3)
- 6日(土) 後援会学年懇談会
- 13日(土) 英検(高3、中2、中3と、高1、高2の希望者)
- 17日(水) 専門医によるカウンセリング
- 18日(木) 東海大学進学説明会(高2)、校医相談日
- 20日(土) 保護者会(高1、中1)
- 25日(木) **研修旅行(高2)(～30日)**、
4時限授業(高1、高3、中等部)(～7月1日)
- 26日(金) **第1回中等部体育祭(総合グラウンド)**
- 27日(土) **スポーツ大会(高1、総合グラウンド)**
- 30日(火) **スポーツ大会(高3、総合グラウンド)**、**自宅学習日(高1)**

- 1日(水) **振替休日(高2)**
- 2日(木) 朝礼、校医相談日
- 4日(土) 受験生・保護者学校説明見学会(中等部、10:00)
- 9日(木) 生徒による授業評価アンケート
- 10日(金) 夏期カナダ短期留学(高1、高2希望者 ～27日)
- 11日(土) **水泳実習(中等部)**
(特奨・特技・特学)湘南校舎等学部学科内定者説明会
- 12日(日) 受験生・保護者学校説明見学会(高校、10:00)、英検2次
- 14日(火) **剛健旅行開会式(7時間目)**
- 15日(水) **第41回剛健旅行(～16日)**
- 17日(金) **剛健旅行閉会式**、夏期休暇前諸注意・大掃除
- 18日(土) 希望者講習(高校、～25日)
- 19日(日) (特奨・特技・特学)情報通信学部内定者説明会
- 20日(月) **海の日**
- 31日(金) **学園オリンピック(文化部門)(夏季セミナー、～8月5日)**

校外活動(高校3年生)



編集後記

メキシコで発生した新型インフルエンザの感染が拡大し、パンデミック(世界的大流行)の兆しを見せている。90年前、世界で4千万人以上が死亡し、わが国でも40万人の死者を出した「スペインかぜ」に比べると、毒性は弱く重症度も低いとされる。だが、感染力は強く、人から人への感染をくり返すうちに病原性が急に強まることもあるというから油断はできない。研修旅行、カナダ・ハワイへの留学を控え、これ以上拡大しないことを祈りたい。(か)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>